

健 康 宣 言

健康の保持増進は、従業員及びその家族が将来に亘り幸せな生活を送っていくために欠かせないものであり、企業活動にとっても企業の活力を維持し、創造性を發揮する上で重要な経営基盤である。

医療費の増大は、医療システムを支える健康保険組合の保険料増加に繋がり、従業員企業双方に影響を及ぼす。人口減少社会が本格的に到来した国内においては、国民の健康の保持増進は社会の活力維持のためにも大きな課題となっており、企業の健康経営の社会的意義は一層高まっている。

三菱電機グループでは他社に先駆け、会社、労働組合、健康保険組合の三者協働事業として、2002年度から三菱電機グループヘルスプラン21活動（MHP21活動）に取り組み、今日までグループ全体で大きな成果を上げてきている。活動スタート時に掲げた経営的意義や理念は社会的にも益々その重要性を増しており、ステージⅢ以降もグループ全体で強力に推進・加速していくことを確認する。

本大会を契機に、MHP21活動をはじめとした各種健康経営施策について、三菱電機、関係会社各社、労働組合、健康保険組合の関係者が一丸となって強力に推進し、従業員が安心して生き生きと働くことができる、安全・健康・快適な職場づくりに取り組む決意を新たにするとともに、将来に亘って健康経営企業グループの実現を図ることをここに宣言する。

2017年5月30日

三菱電機株式会社

三菱電機関連労働組合連合会

三菱電機健康保険組合